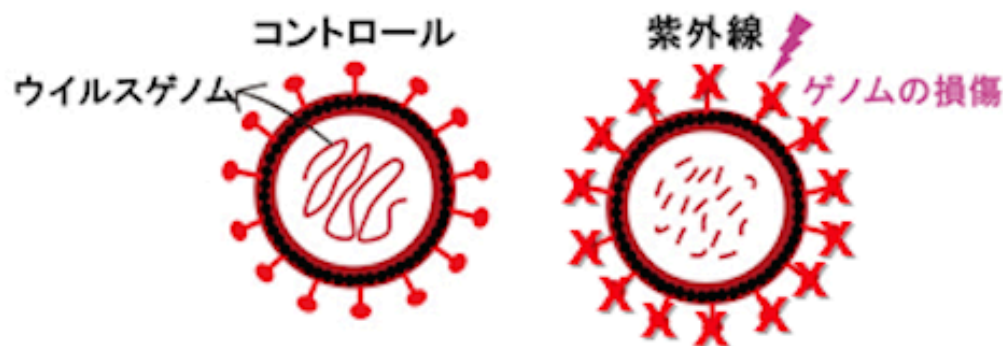
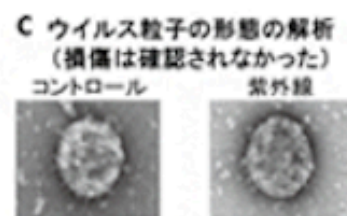
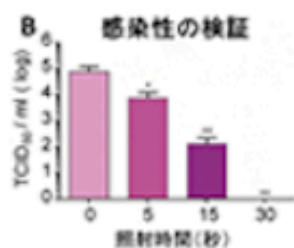


紫外線照射による新型コロナウイルス不活化のメカニズム

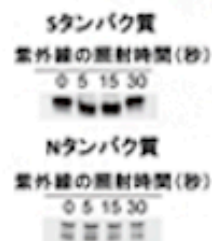
—ウイルスRNAの損傷が原因だった— 理化学研究所様資料



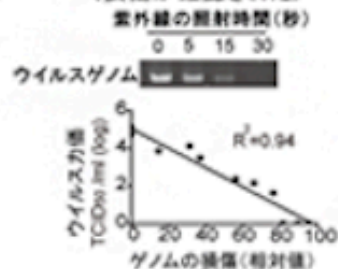
僅か30秒の紫外線照射で99.99%
のウイルス不活性化を実現！
(菌類よりも圧倒的に素早く不活性化)



**D タンパク質の損傷の解析
(損傷は確認されなかった)**



**E ゲノムの損傷の解析
(損傷が確認された)**



	紫外線
SARS-CoV-2への作用	ウイルスタンパク質の損傷やウイルス粒子の形態の変化を伴わない ウイルスRNAの損傷による環境中のウイルスの不活性
変異株への効果	同様の効果が期待される
新規ウイルスへの効果	同様の効果が期待される
利用	物体の表面上や水中、エアロゾル中のウイルスを不活性化できる
欠点 可視光紫外線	生体に有害である 生体に対して無害！
使用方法	物体の表面や水中、空気等の環境に照射する

縦軸は感染性（ウイルス力価）を示す。紫外線を照射することで、時間依存的にSARS-CoV-2のウイルス力価が有意に減少した。30秒間の照射で感染性が**99.99%**減少した。